

中学校における防災教育の推進

全日本中学校長会
会長 宮澤 一則

全国の中学校では

- 毎月1回 必ず避難訓練を含めた**安全指導、防災教育**を推進している。
- 学校によっては、中学生が避難所の運営主体者として率先して**避難所運営訓練**を行っている中学校の事例も報告されている。
- **各教科等**における防災教育
特別の教科 道徳、社会、理科、保健体育、技術・家庭、
総合的な時間、特別活動において、防災教育を推進している。

全日本中学校長会としての取組

機関誌「中学校」毎年10月号に防災特集を掲載

- (1) 宮城、岩手、福島の東日本大震災の被災3県から復興状況や学校の取組状況を報告してもらい、全国の中学校長に発信している。
- (2) 自然災害等を受けた自治体を1つ取り上げ、復興状況や学校の取組状況を報告してもらっている。
- (3) 令和元年度までは、被災3県を会長と東日本大震災支援委員長が訪問し、その報告を掲載していた。
コロナ禍により、令和2年度から訪問は中止している。
- (4) 新教育ビジョン提言6「健康教育・安全教育」の特集として3年に1回程度、提言6の特集を組み、その中で防災教育についても大学教授等による論考を掲載している。

「全日中新教育ビジョン」

－ 学校からの教育改革 －

「全日中新教育ビジョン」では10の提言

6 「健康教育・安全教育」

生涯にわたり健康で安全に過ごすための資質・能力を
育む健康教育・安全教育の充実

いかなる状況下でも自らの命を守る**自助**とともに、自分自身が社会
の中で何ができるのかを考えさせる**共助**の視点からの防災教育の推進